

安齋育郎教授のご定年にあたって

1988年の国際関係学部の開設に伴い、経済学部から移籍されてから18年間にわたり、国際関係学部教学の発展に尽くされ、また立命館大学国際平和ミュージアムの館長として、世界平和の実現を目指して、国内外で幅広く活躍されてきた安齋育郎教授が2006年3月末に定年で退職されることになりました。本号はその記念のために刊行されるものです。

安齋先生は本学の役職として、学部主事(現在の副学部長職に相当)、立命館評議員、大学協議員、国際平和センター長、国際平和ミュージアム館長などを歴任し、学部の看板教授として、また、本学の「平和と民主主義」の顔として活躍されてきました。

安齋先生がこれまでに積み重ねた研究上や教育上の数々の業績は、「主要著作目録」や経歴などを一読しただけでもお分かりになると思います。先生の学問研究は、単に書齋や大学の中にとどまった研究ではなく、現実社会や世界の目まぐるしい政治変化を見据えた鋭い分析と警鐘、提言が随所になされており、学問のあり方の新しい方向性を打ち出されています。

本学部での先生の担当科目は教養科目としての「自然科学概論」と専門科目の「平和学」、専門演習、大学院では「地球環境問題特講」、特別演習(研究指導)などでした。前者の科目では超能力、心霊現象、オカルトなどを科学的に分析解明され、後者では学問としての平和学にとどまらない、実践としての「安齋平和学」を講義されてきました。その成果は多くの出版物として公刊され、多方面からの高い評価を受けています。また、先生の巧みな話術と洗練された講義テクニックと講義内容は数多くの学生を魅了したばかりか、学問的関心を学習と研究に結びつける教育を実践されてきました。

学部創立メンバーとして国際関係学部・大学院国際関係研究科の発展にご尽力下さり、また、立命館大学の教育・研究の発展に多大な貢献をされましたことに、学部を代表して深く感謝申し上げます。なお、先生は来年度からは特命教授・国際平和ミュージアム館長として、引き続き本学の発展に尽くされる予定です。先生の益々のご活躍とご健康を祈念いたします。

2006年3月

立命館大学 国際関係学部長 小木裕文

